

<学校自己評価>

学校自己評価とは、戸田中央看護専門学校が、組織的・継続的な教育活動の改善を行い、学生・卒業生、関係者との連携協力による特色ある学校づくりを推進するために行う評価の事です。

学校評価は教育機関としての機能を包括的に判定する学校関係者評価と、教職員による学校運営全般、卒業生による教育活動等、在校生による授業アンケートの評価からなっています。

平成30年度の取り組みと評価

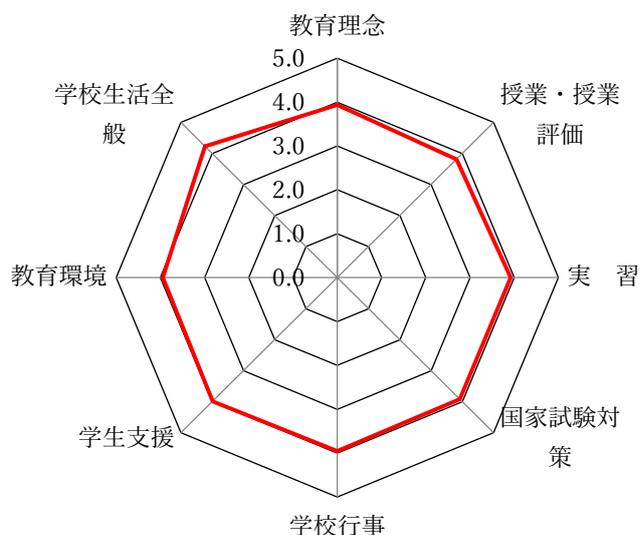
<平成30年度 学校自己評価結果>

表1 大項目評価

評価基準 5 大いに当てはまる 4 当てはまる 3 どちらでもない 2 当てはまらない 1 まったく当てはまらない

	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X
	教育理念 目標	学校運営	教育活動	学修成果	学生支援	教育環境	学生の受け 入れ募集	財務	法令等の 遵守	社会貢献 地域貢献
卒業生	3.9		3.9	3.9	4.0	4.0				
教職員	3.9	3.5	3.7	3.5	3.7	3.8	3.7	3.0	3.9	4.0
	平均									3.6

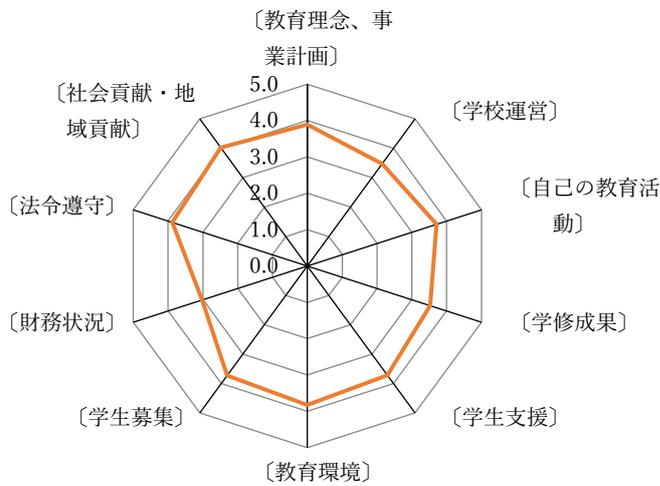
図1 大項目評価のレーダーチャート(1) 卒業生アンケート



「授業・授業評価」と「実習」を「教育活動」、「国家試験対策」を「学修評価」として評価する。

平成29年度卒業生106名中63名(回答率59.4%)、卒業後6カ月が経過した時点で調査した。全体の評価は3.9を超える評価であり、本校の教育は概ね良好であると評価される。

図2 大項目評価のレーダーチャート (2) 教職員アンケート



教職員対象アンケート結果は平均 3.6 に達しており、概ね良好な運営と言える。しかし、その中で学校運営に関して (3.5)、学修成果に関して (3.5) は平均を若干下回った。学校運営に関して (3.5) は、会議や規定の部分の評価は良好ではあるが、学校の特色の打ち出し、保護者や地域との連携や情報発信、学校の改革、改善の面は課題となる。財務状況に関して (3.0) 教職員への説明の機会を設け、改善を図った。

図3 授業評価のレーダーチャート 在校生アンケート

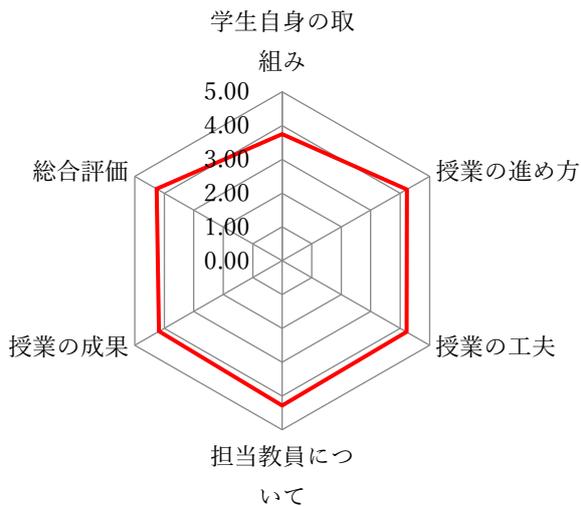
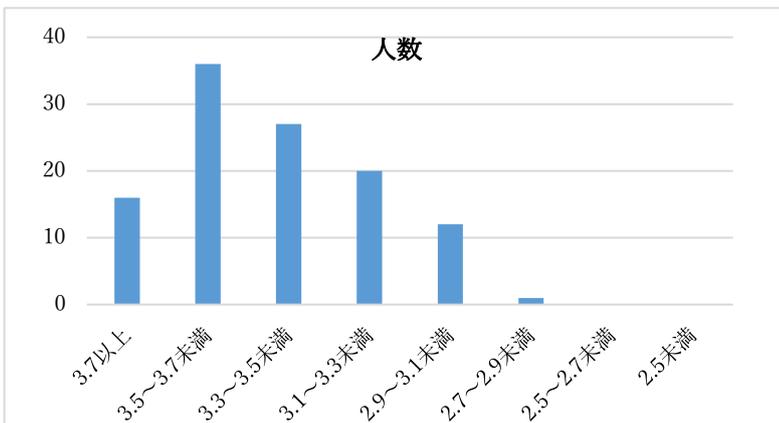


図4 GPA (Grade Point Average)



本校の GPA (Grade Point Average) は、3 年間を通した各科目の成績を A 評価は 4 点、B 評価は 3 点、C 評価は 2 点、D 評価は 1 点と数値化し、値の合計点を履修科目数で割り算して平均をとったものである。平均 3.43 であった。

大項目毎の自己評価の要約と詳細

(I) 教育理念・目標 卒業生 3.9 教職員 3.9

教育理念にある「礼」「智」「技」の発展を年次目標として明示し、各学年、年間3回の自己評価シートを用いた自己評価を行っている。学年目標は、前期・後期の総括において担任より全教員に向けて目標達成状況と課題の報告を行った。保護者への説明は保護者会で行う。現在、授業公開を受験対象者とその保護者に年1回開催している。本校の教育活動を理解して頂くために、在校生の保護者を対象にした公開授業を検討したい。また、地域住民へは学校祭において学習成果の発表会にて公開し、ご理解を頂いている。

(II) 学校運営 教職員 3.5

学校の運営組織は図式化されており、教育目標に沿った運営方針を設定している。各教育活動、委員会活動、行事活動の運営計画を立案して実施・自己評価している。職員会議は定期的に行われ、各学年、委員会、教育活動の周知を行い、課題の提示と対策を検討している。倫理的問題の対応については、本校は倫理委員会を設置しており、事案への対策を検討する。学生は無記名で自らの意見を投函することができ、倫理問題の早期解決をめざしている。安全対策として、災害時の安否確認はシステムによって管理されており、緊急時の連絡としても活用している。今後、さらなるシステムの活用を図り危機管理マニュアルの強化をめざしたい。職員の働く環境整備は組織的に行われ、アンケートおよび研修を実施している。業務の効率化に向けてSNS上における情報環境を整えた。

(III) 教育活動 卒業生 3.9 教職員 3.7

授業評価は、学習のまとまりごとで実施している。述べ60回のアンケートを実施した。全項目の平均は4.1を超える評価であった。

本校は平成26年より120名定員と増員することを機に、看護実践能力の育成を目指してアクティブ・ラーニング、看護技術にe-ラーニングを導入するなど教育の質の向上を目指している。実習室は学習内容に応じた機能を備えるように整備を継続している。今後、シミュレーションなどの教育方法を工夫し、授業時間外では基礎知識・技能を自己学習し授業時間内では発展的な学習ができるようにすすめている。また、「主体的な学び、対話する学び、深い学び」となる学習をつなげ、体系的に編成している。実習においては、経験を教材化して実践したことの意味付けを学びとできるように教員と臨床指導者が連携していける環境を整えている。また、実習グループは、1グループ4人制をとっており、少人数に編成することで個々のレディネスに応じた指導をめざしている。

(IV) 学修成果 卒業生 3.9 教職員 3.5

平成30年度、就職率100%、国家試験合格率98.3%

戸田中央以下グループへ就職した学生は、ナースの能力開発・評価システムによって継続教育を受けている。卒業以降のキャリア形成について把握していることを学校の教育活動の改善へ役立てたい。

(V) 学生支援 卒業生 4.0 教職員 3.7

就職、資格取得、退学対策のため担任制をとり、学生生活を支援している。定期面談に加え、状況に応じた個別面談・3者面談を行い、保護者とも連携して支援を行っている。令和1年より、保護者を全学年で実施する。情報提供を図り教育活動の見える化をすすめて、保護者と連携した体制をつくっていききたい。学生相談については、学生相談室に専属カウンセラーが配置され、週2回、完全予約制でカウンセリングを受けることができる。就職支援として、2年生後期には就職説明会を実施し全員が参加している。3年生はインターンシップに参加することで就職後のイメージをもって就職先を選択している。本校は、戸田中央医科グループの助成により、戸田中央医科グループ奨学金制度と戸田医科グループ生活協力金制度を有する。日本学生支援機構などの奨学金を併用して受けることもできる。資格取得できるように学生の学習支援を行っていききたい。

(VI) 教育環境 卒業生 4.0 教職員 3.8

本校では、平成28年に新校舎が完成した。各看護学の学習に応じた設備や教材を備えた実習室となった。特にシミュレーション教育が効果的にできるようにシミュレーションルームが新設された。実習室のフロアが病棟をイメージした造りになっており、生活動作の自立に向けた技術を学べる設備も整えている。図書室には司書が常駐しており、土曜日にも開室している。利用者総数は年間、21,910名であり、卒業生やTMG所属の医療関係者も利用している。学習環境として集中して学習できるように学習室が設けてある。学習室は、平日7:30から19:00まで、土曜日8:30~12:00まで自主学習ができる。グループ学習ができるカンファレンス室は、6室設けられている。校舎は免振構造になっており、防火設備も整っている。避難訓練は毎年行っているが、消火設備や脱出設備の訓練については今後の課題としていきたい。海外研修は文化交流と海外の医療と保健制度について学ぶことを目的に、ハワイ大学での講義、医療施設見学を行っている。

表2 図書室利用状況 利用者数(名)

1年生	2年生	3年生	教員	学外者	学生総数	総数(名)
1,990	10,161	8,251	1,344	164	20,402	21,910

(VII) 学生募集 教職員 3.7

オープンキャンパス、小学生・中学生対象体験見学会、学校説明会(昼間・夜間)、高校教員対象説明会(自校卒業生との交流会)、公開授業を実施している。依頼に応じて訪問模擬授業を行う。ホームページにて受験に関わる情報を広く公開している。ホームページやパンフレットの内容については、実習病院や学校外部の関係者によって点検されている。本校の教育活動が受験生や保護者、関係者に理解されるよう、検討を重ねていきたい。

(VIII) 財務 教職員 3.0

財務関係の教職員への周知が徹底しておらず、他の評価項目と比べて低い値であった。アンケートの結果を受けて、職員会議で報告した。今後は、報告会を計画的に行っていききたい。

(IX) 法令等の遵守 教職員 3.9

自己評価において、適切であるといえる。

(X) 社会貢献・地域貢献 教職員 4.0

自己評価において、活発に行われているといえる。

平成 30 年度における本校のボランティア活動への参加述べ人数は以下のとおりである。1 年生から 3 年生まで、いずれかのボランティアに全員が参加している。すべての活動に教員が引率しており、学生と共にボランティア活動を行っている。多くの方々と関わり役割を果たすことで、学びも大きい活動と位置づけ、今後も積極的に活動に参加していきたい。

表 3 平成 30 年度 ボランティア活動への参加述べ人数

ボランティア活動	人数 (名)
グリーンビレッジ 蕨・グリーンビレッジ 朝霞台 夏祭り	36 名
グリーンビレッジ 安行 夏祭り	24 名
とだ優和の杜 夏祭り	40 名
ピンクリボン運動	145 名
戸田中央総合病院・戸田中央産院合同大規模災害訓練	90 名
さいたま国際マラソン全校ボランティア	362 名
都立光が丘公園災害時共助訓練	30 名
	727 名

(XI) 国際交流

平成 30 年 8/2 (木) ~10 日 (金) まで、台湾・高雄市にある樹人醫護管理専科學校看護学科の学生 12 名と日本語学科 4 名、引率教員 4 名が来日し、国際交流研修が行われた。研修期間中は本校の学生と共に演習や講義に参加。戸田中央医科グループの病院、産院、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など 5 施設を見学した。